



2024年6月20日

雪崩事故防止研究会（略称：ASSH）

代表 阿部幹雄

【企画書】

2024/2025 シーズン

「雪崩サーチ&レスキュー AvaSAR（アバサー）講習会」

主催 雪崩事故防止研究会

【企画趣旨】

雪崩事故防止研究会は活動を本州へ拡げ、「雪崩サーチ&レスキュー AvaSAR（アバサー）講習会」を開催しています。活動を本州へ拡げた理由は、高校生ら8名が亡くなった那須雪崩事故（2017年）が起きたからです。事故調査に会員たちが関わりました。雪崩教育を受け、雪崩を回避する知識があれば、那須雪崩事故は防げたはずで、雪崩の捜索救助法と医学知識があれば、もっと助かる命があったかもしれません。私たちは、雪崩教育が重要との思いを新たにしました。特に雪崩埋没者の捜索救助法（AvaSAR）を身につけていれば、生存救出が可能になります。

2007年11月、雪崩事故防止研究会代表阿部幹雄の提案により（公社）日本雪氷学会北海道支部は、「雪氷災害調査チーム」を設立しました。山岳地帯で起きた雪崩事故を調査するため、ガイドや登山家が研究者をサポートして現場へ行き調査を実施。その結果を公表し、雪崩事故防止に役立てる社会貢献事業です。北海道警察と情報提供の覚書を交わし、雪崩事故発生、捜索救助の情報などの提供を受けています。また毎年、北海道防災航空隊の協力を得て講演会（北大）でエアレスキュー訓練を行っています。

雪氷災害調査チームのメンバーは48名（2022年4月現在）。そのおよそ1/3が雪崩事故防止研究会会員です。雪氷災害調査チームは調査研究機関、雪崩事故防止研究会は教育機関として位置づけ、雪崩事故防止のために活動しています。

雪氷災害調査チームと雪崩事故防止研究会は2016年から2018年までの3年間、雪氷災害調査チームの捜索救助の技術レベルの向上のため、スイスから国際的な雪崩レスキューの権威であるマニユエル・ゲンシュワイン氏を招聘し、講習を実施してきました。2018冬から、雪崩事故防止研究会が主催し「雪崩サーチ&レスキューAvaSAR講習会」を開催、雪氷災害調査チームのガイドが講師を担当しています。

雪崩事故防止研究会が開催する雪崩サーチ&レスキュー講習会（AvaSAR：アバサー）は、MountainSafety.info（国際山岳安全情報機構、MSI：スイス）が提供する国際基準の「最良の実践を目指す雪崩レスキュー」の技術を日本で普及させる試みです。



マニユエル・ゲンシュワイン氏

**【講習会の名称】**

「2024/2025 雪崩サーチ&amp;レスキュー AvaSAR 講習会」

**【主催】**

雪崩事故防止研究会

**【目的】**

- 国際的に標準化された MountainSafety.info (以下 MS.i)が提供する「最良の実践を目指す雪崩レスキュー」に準拠した技術を用い、一般向けの講習会として広く参加者を募り、講習をおこなう
- 国際基準の雪崩レスキューの技術を日本に普及させ、日本の雪崩レスキュー技術を国際基準のレベルに引き上げる
- エビデンスに基づく最良の実践を実現するための雪崩レスキュー技術を理論・実践の両面において受講生に提供する
- 雪崩事故現場にける危急なレスキューにおいて、迅速かつ効果的にレスキューの実践に不可欠な共通理解、共通技術の共有を実現する

**【対象】**

- スキーヤー、スノーボーダー、登山者など雪山愛好者
- 公的機関の救助隊員、ガイド、スキーパトロール  
医師、看護師など医療従事者

**【AvaSAR 講習会・開催地と日程】****札幌 《北海道大学》**

第3回北大生のための AvaSAR 講習会

[日程] 10月27日(日)

[主催] 北海道大学体育会山スキー部・北海道大学総合博物館・雪崩事故防止研究会

[対象クラブ] 山スキー部、山岳部、ワンダーフォーゲル部、探検部

[募集定員] 30名

[受講料] 無料(山スキー部OBの寄付金で運営)

[講義] 北大総合博物館実習室

[実技] 理学部(博物館)南側の緑地、農学部東側の緑地

[講師] 4名(雪氷災害調査チーム、雪崩事故防止研究会)

[アシスタント講師] 4名(山スキー部・山岳部の部員)

**<未定>鳥取県【大山】**

第1回大山雪崩サーチ&amp;レスキューAvaSAR講習会

《一般の人を対象》

[日程] 2024年11月10日(日)

[講習時間] 9時~17時

[講義] &lt;未定&gt;

[実習] <未定>

[定員] 28名 <最少催行人数：14名>

[受講料] 一般 ¥10,000 学生 ¥8,000

[講師] 4名

[レンタル装備] 雪崩トランシーバー ¥1,000 プローブ ¥500 シャベル ¥500

**<未定>鳥取県【大山】** 第1回大山雪崩サーチ&レスキューAvaSAR講習会  
《受講者は公的救助機関所属者に限定》

[日程] 2024年11月11日(月)

[講習時間] 9時~17時

[講義] <未定>

[実習] <未定>

[定員] 20名 <最少催行人数：10名>

[受講料] 一般 ¥10,000

[講師] 4名



**東京【代々木公園】**

第4回「雪がなくても雪崩サーチ&レスキューAvaSAR講習会」

[日程] 2024年12月5日(木)~12月8日(日)

[講習時間] 9時~17時

[講義] 東京オリンピック記念青少年総合センター

[実習] 代々木公園

[定員] 28名 <最少催行人数：14名>

[受講料] 一般 ¥10,000 学生 ¥8,000

[講師] 4名



**《福島県磐梯町》** 【星野リゾート ネコマウンテンスキー場】

[日程] 12月11日(水)&12月12日(木)

両日とも basic (ベーシック) & basic+ (ベーシックプラス)

※basic+の受講には、basicの受講が必要です

[講習時間] 9時~17時

[講義] ネコマウンテンスキー場第2レストランA

[実習] スキー場内の閉鎖中のコースおよび駐車場

[定員] 28名 <最少催行人数：14名>

[受講料] 一般 ¥15,000 学生 ¥12,000

[講師] 4名 [アシスタント] 4名

[レンタル装備] 雪崩トランシーバー ¥1,000 プローブ ¥500 シャベル ¥500



《群馬県みなかみ町》 【星野リゾート 谷川岳ロープウェイ】

[日 程] 12月14日(土)・12月15日(日)

両日とも basic (ベーシック) & basic+ (ベーシックプラス)

※basic+の受講には、basicの受講が必要です

[講習時間] 9時～17時

[講 義] 谷川岳ロープウェイ ベースプラザ

※ロープウェイで天神平に移動(往復¥2,840)

[実 習] 谷川岳天神平スキー場

[受講料] 一般 ¥15,000 学生 ¥13,000

[定 員] 28名 <最少催行人数: 14名>

[講 師] 4名 [アシスタント] 4名

[レンタル装備] 雪崩トランシーバー ¥1,000 プローブ ¥500 シャベル ¥500



【総合的な雪崩講習会】

札幌 《北大手稲ハラダイスヒュッテ》

【第34回雪崩事故防止セミナー】

[日 程] 2025年2月12日(水)～2月13日(木)

[会 場] 北大手稲パラダイスヒュッテおよび周辺

[受講料] 一般¥20,000 学生¥15,000

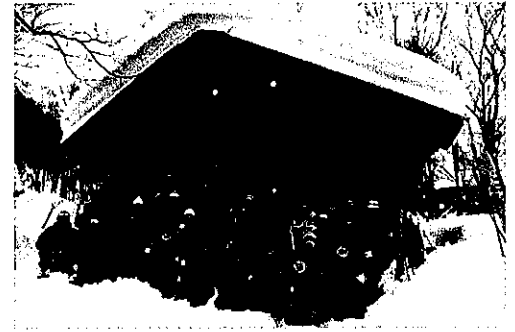
※パラダイスヒュッテ宿泊料(2食)を含む

[定 員] 24名

[講 師] 4名 [アシスタント] 4名

[レンタル装備] 雪崩トランシーバー ¥1,000 プローブ ¥500 シャベル ¥500

スノーソー ¥500



【3月開催のAvaSAR講習会】

《福島県磐梯町》 2025年3月12日(火)～3月13日(水)

[会 場] 星野リゾート ネコママウンテンスキー場

[講 義] 第2レストラン 2階

[講 習] 閉鎖中のスキーコース

[日 程]

3月12日(火) 雪崩サーチ&レスキューAvaSAR basic

3月13日(水) 雪崩サーチ&レスキューAvaSAR basic

[募集定員] 24名 <最少催行人数: 12名>

[受講料] ¥15,000 学生 ¥13,000

[講 師] 4名



[レンタル装備] 雪崩トランシーバー ¥1,000 プローブ ¥500 シャベル ¥500

【群馬県みなかみ町】 2025年3月15日(土)~3月16日(日)

[会場] 星野リゾート谷川岳ロープウェイベースプラザ

[講義] 谷川岳ロープウェイベースプラザ

[講習] 谷川岳登山インフォメーションセンター駐車場

[日程]

3月15日(土) 雪崩サーチ&レスキューAvaSAR basic

3月16日(日) 雪崩サーチ&レスキューAvaSAR basic

[募集定員] 各24名 <最少催行人数: 12名>

[受講料] ¥15,000 学生 ¥13,000 [講師] 4名

[レンタル装備] 雪崩トランシーバー ¥1,000 プローブ ¥500 シャベル ¥500



### 《コーディネーター》



阿部幹雄

雪崩事故防止研究会代表

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム前代表

第49・50・51次日本南極地域観測夏隊

写真家、ビデオジャーナリスト、北大山とスキーの会

「那須雪崩事故の真相~銀嶺の破断」、「証言 雪崩遭難」

いずれも山と溪谷社ほか著書多数

札幌市在住

### 《主任講師》



中川伸也 [東京代々木・谷川岳(12月)・ネコマウンテン(12月)]

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム

(公社) 日本山岳ガイド協会(登山ガイドⅡ、スキーガイドⅡ)

natures.

北海道東川町在住

### 《主任講師》



阿部夕香 [谷川岳(12月)・ネコマウンテン(12月)]

手稲パラダイスヒュッテ(2月)]

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム

(公社) 日本山岳ガイド協会(登山ガイドⅢ、スキーガイドⅡ)

北海道山岳ガイド協会理事、札幌山岳ガイドセンター

第56次・第64次日本南極地域観測夏隊、札幌市在住

《主任講師》



笹倉孝昭 [ネコママウンテン (12月、3月)]  
(公社) 日本山岳ガイド協会理事 (山岳ガイドⅡ)  
国立登山研修所講師  
「登山技術としてのセルフレスキュー」 (山と溪谷社)  
「アルパインクライミング教本」 (山と溪谷社)  
「大人の山岳部」 (東京新聞出版局)  
兵庫県神戸市在住

《主任講師》



増淵篤史 [ネコママウンテン (12月、3月)、谷川岳 (12月、3月)]  
南東北雪崩研究会、那須山岳救助隊、  
栃木県山岳スポーツクライミング協会遭難対策委員長  
会社員  
栃木県大田原市在住

《講師》



佐々木大輔 [大山]  
(公社) 日本山岳ガイド協会理事、北海道山岳ガイド協会理事長  
国際山岳ガイド、ガイドバンケイ  
(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム  
第50次日本南極地域観測夏隊  
札幌市在住



菊池泰子 [東京代々木・谷川岳 (12月)・ネコママウンテン (12月)]  
(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (山岳ガイドⅡ、スキーガイドⅡ)  
北海道山岳ガイド協会  
ガイドオフィス TACT  
札幌市在住



金村孔介 [未定]

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (山岳ガイドⅡ、スキーガイドⅡ)  
第 65 次南極地域観測夏隊、北海道山岳ガイド協会理事  
どんころ野外学校  
北海道南富良野町在住



榊原大貴 [北大・東京代々木・手稲パラダイスヒュッテ (2月)]

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (登山ガイドⅡ、スキーガイドⅠ)  
北海道山岳ガイド協会  
札幌市在住



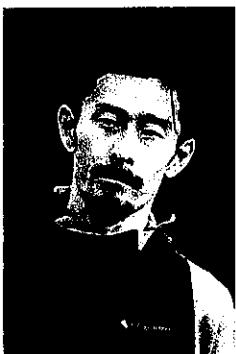
高田健史 [未定]

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (登山ガイドⅡ、スキーガイドⅡ)  
北海道山岳ガイド協会  
Mountain Guide West&East  
北海道京極町在住



双樹智道 [谷川岳 (12月)・手稲パラダイスヒュッテ (2月)]

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (登山ガイドⅢ、スキーガイドⅠ)  
北海道山岳ガイド協会、(株)秀岳荘  
札幌市在住



佐々木翔平 [北大・東京代々木]

(公社) 日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (登山ガイドⅡ、スキーガイドⅡ)  
北海道山岳ガイド協会  
サークルゲームガイドサービス  
札幌市在住



大西人史 [大山]

雪崩事故防止研究会、雪氷災害調査チーム  
北海道道立総合研究機構  
旭川市在住

《アシスタント講師》



植木孝 [ネコママウンテン (12月、3月)、谷川岳 (12月、3月)]

南東北雪崩研究会・雪崩事故防止研究会  
那須山岳救助隊、  
栃木県山岳スポーツクライミング協会指導委員長  
栃木県那須塩原市在住



三浦康 [未定]

南東北雪崩研究会、雪崩事故防止研究会  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (登山ガイドⅡ、スキーガイドⅠ)  
北大山とスキーの会  
山形県白鷹町在住



西口紀章 [未定]

南東北雪崩研究会、  
(公社) 日本山岳ガイド協会 (登山ガイドⅡ、スキーガイドⅠ)  
MIZUDORI  
栃木県那須塩原市在住

【問い合わせ先】

雪崩事故防止研究会代表 阿部幹雄 <http://www.assh1991.net/>

携帯 090-3118-1929 E-mail mabe@seagreen.ocn.ne.jp

【事務局】 石田淳一

〒064-0921 札幌市中央区南 21 条西 8 丁目 1-37(株)石田商店内 TE

(011) 521-0767 E-mail : info@assh1991.net

## 【雪崩事故防止研究会と雪氷災害調査チーム】

(公社)日本雪氷学会北海道支部「雪氷災害調査チーム」は、調査研究を担い、任意団体「雪崩事故防止研究会」は教育を担う。雪崩事故を防止するための車の両輪である。

### 雪崩事故防止研究会

1991年に阿部幹雄(北大山スキー部OB、写真家、ビデオジャーナリスト)、樋口和生(北大山岳部OB、元国立極地研究所、第57次、64次日本南極地域観測隊越冬隊長)、故福沢卓也(北大ワンダーフォーゲル部OB、北大低温科学研究所)の3名によって設立された任意団体。代表は阿部幹雄、会員は研究者、学生、医師、山岳ガイド、消防士、看護師、登山家、スキーヤーなど37名(2023年)。北大山スキー部、山岳部で培われてきた学生たちの雪崩研究と低温科学研究所で培われてきた雪崩研究を礎にして、雪崩の科学的な知識の啓蒙、雪崩埋没者の生存救出を実現する雪崩対策装備や救助法、低体温症に関する知識の普及を目的として、毎年、雪山を楽しむ人々や公的救助機関など、雪山に関わる人々を対象として、「雪崩事故防止セミナー」、「雪崩サーチ&レスキューAvaSAR(アバサー)講習会」や講演会「雪崩から身を守るために」を開催している。雪崩の教科書として山と溪谷社から日本で初めての雪崩の教科書「最新雪崩学入門」(1996)を出版し、「増補改訂版雪崩教本」(2022)など5冊を出版している。

### 雪氷災害調査チーム

阿部幹雄の提案により(公社)日本雪氷学会北海道支部では2007年に「雪氷災害調査チーム」を結成し、社会的影響の大きな豪雪災害や人命に関わる雪崩災害について科学的な調査を行い、記録にとどめ、広く一般に情報を公開する社会貢献活動を行っている。初代代表は阿部幹雄。2019年から代表は立本明広(山岳ガイド)。調査チームは研究部門(20名)とガイド部門(22名)によって構成されている。雪崩事故が発生すると研究者と山岳ガイドによる調査班が編制され、出動する。当事者や救助に関わった人たちの聞き取り調査も行う。雪崩および雪崩事故に至った実態を分析した結果をホームページで公開し、講演会で雪崩事故への注意を喚起し、科学的な知識を啓発する活動を行っている。北海道警察地域企画課とは情報提供の覚え書きを交わし、相互に情報交換を行っている。調査チームの活動は、北海道内の企業からの寄付金によって支えられている。2015年には「山岳雪崩大全」(山と溪谷社)を刊行。雪崩のことを知りたいと考える登山者、スキーヤーが気軽に読める教科書として「雪崩教本」(2017)を刊行。価格を¥1000と抑え、若い人、学生たちが買いやすかった。雪崩事故の医学を加筆した「増補改訂版雪崩教本」を2022年に刊行。雪崩事故防止研究会が主催する講演会、講習会の講師を研究者、ガイドが担当している。

『増補改訂版雪崩教本』山と溪谷社(2022年刊行)1430円、A5版160ページ



雪崩事故防止研究会が編著者となった雪崩の教科書、「最新雪崩学入門」(1996)「決定版雪崩学」(2002)、「山岳雪崩大全」(2015)、「雪崩教本」(2017)を改訂し、雪崩事故の医学を加筆した雪崩の教科書。出版のコーディネーターはすべて雪崩事故防止研究会代表の阿部幹雄。

#### ■内容

- 第1章 雪と雪崩の科学
- 第2章 雪崩リスクマネジメント
- 第3章 雪崩サーチ&レスキュー
- 第4章 雪崩事故の医学的対応